

南三陸 復興まちづくり通信

第7号(平成27年1月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。法人化を機会に、町内外の皆さまに活動の内容をご理解いただき、共に地域の再建への道を歩いていくために『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願ひいたします。



寄木・葦の浜団地集会所の完成イメージ図

と「イメージスケッチ」が提示され、説明が行われました。協議では、真剣で活発な意見が出され、役場側では、持ち帰ってこれを基にさらに使い勝手が良くなるように改良を加え、次回の検討会で示すことになりました。集会所は延べ床面積が約160㎡で、新年度に実施設計が行われ、平成27年度末に完成する予定です。復興みなさん会のメンバーも、オブザーバーとして検討会に出席させていただきました。

寄木・葦の浜団地「集会所」の検討会開催

寄木・葦の浜地区の防集団地内に建設される同地区の「集会所」についての3回目の検討会が12月18日、寄木仮設住宅の談話室で開かれました。検討会には、両地区の区長と契約会長のほか、住民の代表など12人が出席。役場からは復興事業推進課、企画課の担当者と、復興まちづくり支援事務所の担当者が出席しました。

最初に、9月と10月に行われた2回の検討会の議論を踏まえた計画案として、「計画平面図」



寄木仮設談話室での「検討会」の様子



(完成した戸倉地区松崎団地からの眺望)

戸倉地区2防集団地で完成見学会

防災集団移転事業で整備が進められていた戸倉地区の松崎団地(19戸)と波伝谷団地(13戸)の造成が完了し、1月10日午後それぞれ「現地見学会」が行われました。このうち、松崎団地では移転を計画する住民およそ20人が参加し、出来上がった団地をじっくり見て回りました。役場担当者から、現在は2月中旬の引き渡しを目指し確定測量の作業中で、今後は引き渡しの手続きや価格などについての説明会が行われる予定であることが伝えられました。



自然環境活用センターの完成予想図

自然環境活用センター基本構想固まる

南三陸町が志津川地区に建設を予定している自然環境活用センターの基本構想が固まり、新年度から実施設計が始まります。建設場所は、松原公園があったところで、敷地面積は約 3,000 ㎡。木造平屋造りで、延べ床面積は 642 ㎡。27 年の後半に着工予定で、28 年度の完成が見込まれています。建設費はおよそ 2 億円です。

自然環境の調査・研究や人材育成のための教育プログラム運営のほかに、体験交流や観光振興の拠点として、町内外から大勢の来館者が訪れることが期待されます。

災害公営住宅への支援の取り組み学ぶ

トヨタ財団による「災害公営住宅におけるコミュニティ支援」プログラムの助成団体の研修会が 12 月 16 日、大崎市で開催されました。会には岩手、宮城、福島の前 6 団体のメンバーのほか、宮城県震災復興・企画部、大崎市市民協働推進部の担当者、トヨタ財団事務局スタッフなどおよそ 30 人が出席。それぞれの団体が、災害公営住宅での新しいふるさとづくりに向けた、地域での絆づくりや交流支援の取り組みについて発表したほか、情報・意見交換などが行われました。



(復興みなさん会からのプレゼンの様子)



(会食をしながら和やかに交流する入居者の皆さん)

名足復興公営住宅で自治会主催の交流会

昨年 8 月に入居が始まった名足復興公営住宅 (33 戸) では、入居者の方々が自治会を設立。梶原義人会長を中心に、毎月役員会を開催するなど、新しいコミュニティづくりが始まっています。これまでに「植樹祭&交流会」や「防災避難訓練」などを実施したほか、12 月 21 日には、「クリスマス会&忘年会」を開催。入居者同士の交流を楽しみました。この日は、今後の集会所の利用のルールなどについても話し合わせ、復興みなさん会のメンバー 2 人も参加しました。

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26
 上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当法人は、本年度の宮城県震災復興担い手 NPO 等支援事業の助成金を受けて、活動を行っています。